

みかん通信

2014年秋号

発行
滋賀県立大学
未来看護塾

応援！生き活き健康生活開催

ビバシティ

二〇一四年十月四日(土)、私たちはビバシティ彦根で「応援！生き活き健康生活」というイベントを開催しました。当日は、ハンドマッサージ、血圧測定、骨密度測定、防災健康クイズ、伊丹スープ、子どもふれあい広場、南三陸町田の浦防災ブースの七つのブースを設けさせてもらいました。ハンドマッサージのブースでは、お話をさせてもらいながらマッサージを行い、和やかな時間を過ごしていただきました。血圧測定、骨密度測定のブースでは、健康に関心の高い方にたくさん来ていただけました。防災健康クイズでは、正解者の方に災害時に役立つ、乾パン、ドロップ、エビピラフをプレゼントさせてもらいました。子どもから大人の方まで楽しんでいただけました。伊丹先生の「伊丹先生の浦のわかめ入りスープを食べていただきました。子どもふれあい広場では、輪投げ、スライム作り、アートバルン、写真立て作りのコーナーを設けました。最初は恥ずかしがっていたお子さんも未来看護塾のメンバーと遊んでいくうちにすべてのコーナーを回ってくださったり、お子さんが遊んでいる間に他のブースに足を運んでくださる親御さんもおられたり、大変嬉しく思いました。来ていただいた方に満足の言葉をいただき、大盛況となりました。

湖風祭「ちびっこ広場」

二〇一四年十一月八、九日に開催された第二十回湖風祭に、未来看護塾では「ちびっこ広場」のブースを設け、参加させてもらいました。当日はアートバルン、わりばし鉄砲、スライム作り、輪投げ、さかなつりのコーナーを作りました。一日目は快晴だったこともあって、屋外のテントでたくさんのお子さんと遊ばせてもらいました。やはりアートバルンとスライム作りが人気で、中でもアートバルンでは女の子にはお花が、男の子には剣が好まれていました。二日目はあいにくの雨で、屋内の教室で開かせてもらいました。雨にも関わらず、多くの子どもたちがちびっこ広場を探して遊びに来てくれました。わりばし鉄砲では、紙コップを組み立てて輪ゴムで打つのですが、紙コップを高く組み立てる方を楽しんでくれるお子さんもいて、とても楽しい時間となりました。



普段の活動感想

城南保育園(Yさん)

「今回は三〜六歳までのクラスに行かせてもらいました。なるべく多くの子どもたちと関わっていいことと思ったのですが、それぞれの歳によって遊び方が変わってくることを実感し、なかなかうまくいきませんでした。子どもたちと遊ぶことで得られたものを、次の活動で活かせるようにしていきたいと思いました。」

緩和ケア病棟(Yさん)

「初めての緩和ケア病棟でのボランティアで緊張していたのですが、ティーサービスで患者さんやそのご家族さんに感謝の気持ちを言ってもらい、とてもうれしかったです。今後、授業で習ったことも踏まえて、患者さんと関わっていいと思います。」

◎平成二六年度未来看護塾コアメンバー◎

代表 小番裕貴

副代表 金子萌 角井里奈

病院 田中美桜 今井祐美 下田絢子

下野桃美

保育園 福原千紗 瀬戸口美佳 谷香奈恵

ぼぼ 文字菜月 高谷美和 高橋奈々

会計 山口舞 吉本慎子

広報 木全未侑 染井静霞 山田美和

企画 宮原真二 小西朝陽

物品 伊藤真美 神部志帆

田ノ浦ファンクラブ 「東北」

二〇一四年十月、田ノ浦ファンクラブ主催のイベントが開催されました。未来看護塾はイベント内にて「いきいき健康交流広場」を実施しました。「いきいき健康交流広場」では、健康チェックやハンドマッサージ、足浴、ちびっこ広場、伊丹スープ（人間看護学部教授・伊丹先生考案のスープ）のブースを設けました。また、みんなでダンスをし、笑顔あふれるひとときとなりました。

今回の田ノ浦訪問から多くのことを、感じ学ぶことができました。以下の文章は、参加者よりお寄せいただいた感想の一部を抜粋したものです。



田ノ浦の人たちはみんなとてもあたたかくて、一緒にお話したり一緒にダンスを踊ったりして自分もとてもあたたかい気持ちになりました。津波の被害にあわれたことも話してください、改めて津波、震災の恐ろしさを感じました。このことはこれからも語り継いでいかなければならないことだと強く感じました。

（Nさん）

イベントの開催で健康チェックをすることだけでなく、他県から学生が来ることや、イベントという場で、津波被害で離ればなれになってしまった知人と再開できることを楽しみにして下さっている方々がたくさんおられる。また、学生のことを覚えていて、とても親しく接してくださいる方もたくさんおられ、私自身が思うこととしては、震災、津波という災害がきっかけとなったが、このように温かく親切な現地の方々とこのイベントで出会うことができ今でもつながりを持つことに感謝している。（Sさん）

実際津波を体験した漁師さんの話はとても重みがあり、特に「命は一つしかないのだから、まずは自分の命を守ることが大切である。」という言葉が胸に響きました。（Tさん）

まだまだ復興に向けてがんばっておられる方々がいらっしやることを実感し、自分の心の中で震災のことが風化してしまわないようにしたいと思います。（Mさん）



去年も訪れましたが、建物を見ると津波の威力はどのようなものだったのか、そのいた人たちはどんな思いだったのか、といろんな思いが沸き上がり、涙が出そうになりました。（Kさん）

田ノ浦で行ったイベントでは、多くの田ノ浦の方々が来てくださり、楽しんでもらえたので良かったです。また、田ノ浦の方々と交流する中で、つらい経験をされたのにもかかわらず、それを乗り越えて元気に過ごされている姿を見て、私自身も元気をもらいました。（Kさん）

みかん通信

滋賀県立大学
未来看護塾
発行

小児科クリスマス会

二〇一四年十二月十三日、私たちは彦根市立病院の小児科にてクリスマス会をしました。

クリスマス会では、クリスマスにちなんだお話の紙芝居やクリスマスソングのハンドベル、クイズ、お歌の発表などを行いました。クリスマス会には特別ゲストとして彦根の人気キャラクターのひこにゃんも登場し、一足早い催しではあったものの、小児科の子どもたちにも楽しいクリスマス会をお贈りすることができました。

以下の文章は参加した未来看護塾メンバーよりお寄せいただいた感想です。



●今回は未看の持ち込み企画だったので準備や練習が大変でしたが、その分達成感がありました。当日はなかなか思うようにいかない部分もあったのですが、子どもたちと楽しい時間が過ごせて良かったと思います。ケーキもおいしかったです。来年もあるそうなので、是非参加してみてください！(vov)/Tさん

●子供達が楽しそうに参加してくれて本当に良かったです。ひこにゃんも協力してくれて、病院の子供達にもクリスマス気分を味わって貰えたのではないかなと思います。看護師さんに「来年もよろしくお願いします」と言って頂けるようなクリスマス会ができたので、来年も是非参加させて頂きたいです。Iさん

●学生主体の企画ということで、準備や練習など大変でしたが、その分子供たちが笑顔でクリスマス会を楽しんでくれる様子を見て、頑張ったよかったなと思いました。参加できて本当に良かったです。Sさん

●練習通りうまくいかない所も多かったですが、たくさんの子供さんが楽しかったと言ってくれて嬉しかったです。とても貴重な体験ができてよかったです。Hさん

●今回のクリスマス会は、子どもたちの笑顔をみると、準備の段階から楽しく一生懸命取り組んできました。当日は様々な子どもたちがその子その子に合った形で楽しんでくれており、私も温かく幸せな気持ちになりました。病院の子供たちに楽しいクリスマス会が届けられて、私たち子どもたちから笑顔ももらえて、すごく素敵なボランティアだなと思いました。Oさん

●病院でのクリスマス会のためにいっぱい練習したり準備をしたりして大変だったけれど、その分たくさんの人に楽しんでもらえたと思うのでよかったです。Mさん

●病院クリスマス会とっても楽しかったです。ミカンのみんなでがんばって作ったあかはなのトナカイの歌まくを使って、病院の子どもたちと歌を楽しく歌えたので、がんばって作った甲斐がありました。Kさん

ひこにゃん登場♪
トナカイ役の未来看護メンバーと一緒に、プレゼントを渡しています。

